

一般質問

新型インフルエンザ対策と 特色あるまちづくりについて

金子 渡 議員

質問 GW過ぎに新型インフルが日本に上陸した。大流行とはならなかったが、対応への市の自己評価は。

答弁 4月30日に対策本部を設置し、5月1日号広報と一緒に新型インフルに備えたチラシを配布しました。

質問 現在、市内で発症者が出ている。強毒性ではないか。

いが市民への対応策周知は。
答弁 広報や市のホームページで新型インフルの正しい知識や対応策を迅速にお知らせしています。
質問 マスクや消毒液等の消耗品の備蓄状況は。
答弁 市の業務を低下させないよう職員用マスクと消毒液を5月に購入しました。

質問 発症者の把握や治療体制等について、病院や診療所、医師会との連携は。

答弁 保健所や教育委員会から逐次情報を得、また診療体制については医師会と連携して対応していきます。
地域の特性を活かしたまちづくりを

質問 新エネルギービジョン策定後、来年度バイオマスタウン構想に着手する。どのように進めていくか。バイオマスタウン構想書提出の考えは。

答弁 バイオマスは市の資源でもあり、場合によっては宝になる可能性もあります。今後は十分に検討する余地があると思っています。で、いろいろな角度から勉強して取り組んでいきます。
質問 グリーンツーリズムやエコツーリズムへはどのように取り組んでいくのか。
答弁 豊かな自然環境や温泉、あるいは産業観光などとあわせ、渋川独自のもの、渋川発を検討しながら推進していきます。



インフルエンザ対策の検温

公平な行政サービス・橋

平方 嗣世 議員

通学・通院環境の公平について

質問 現在の通学・通院には支援のある地区とない地区がある。公平の原理から均一にすべきではないか。

答弁 義務教育の期間中については、保護者の負担を最小限にするというのが基本であると考えています。

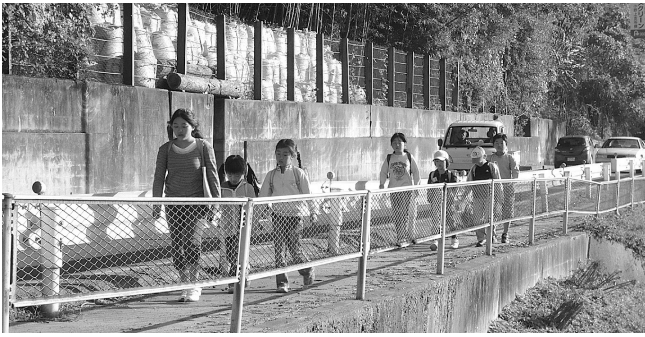
遠距離通学費補助金の基準距離及び補助支給額等について合併前の経緯等ありますが、公平性を念頭におきながら検討しているところです。

本市のバス運行は、各地区の事情を背景に相当な額の財源を投入しています。乗客のいないバスをムダと

目指します。

市の地形的一体感橋の建設
質問 市主体事業3橋について合併特例債活用の有無と建設実現に向けた方針を伺う。

答弁 ご質問の3本の橋りょうのうち、本年度、1本は予備設計を、他の2本は事前調査を実施しています。予備設計橋りょうは合併特例債の活用を予定し、他の2本は財政状況を見ながら他の地方債の活用も視野に入れ慎重に検討を進めます。



集団登校（小野上小）

一般質問



通学バス（子持地区）

高齢者が安心して暮らせる まちづくりを

高橋 敬 議員

質問 北橋地区の高齢者2人が5月と8月に相次いで行方不明になり、防災無線での呼びかけを依頼したが、当局の対応は2〜3時間後であった。対応の遅れが市民の不安を増幅している。安心して生き老いることができるまちづくりを。

答弁 行方不明者について

は、最初に警察に届け出ていただき、警察からの要請に基づいて放送しています。今後も人命に係わることにについては、正確な情報に基づき迅速に対応できるように情報伝達の確認など職員に徹底を図り、安全で安心なまちづくりを推進します。災害に強いまちづくりを

阿久津新市長のめざす 市民の目線での市政運営は

角田 喜和 議員

質問 市長は、旧子持村で通学バスを無料で走らせていた。合併で有料化になり住民から不満の声があるとの発言がありました。私にも同じ声が聞こえます。市長は市民が主役といいますが、通学バスなど市民の目線でどう市政運営を行うのか。

答弁 通学バスは、渋川、小野上、子持、赤城の4地区で運行していますが、地区により利用基準距離が異なっている状況です。今年3月の使用料の統一を通学バス条例の改正に関連した附帯決議により、現在利用基準等の全体的な検討をしているところですが、

質問 高齢者や障害者が同居している世帯への耐震改修助成事業の割り増し制度の実施を。

答弁 現在、高齢者や障害者世帯に対する割り増しは行っておりませんが、他市の実施例等を参考に、今後検討していきたい。

質問 災害時に、救援活動の拠点となる一時避難場所（自治会館等）に昭和56年以前の建物の存在は。安心して活用のできる自治会館等の耐震化を。

答弁 自主防災組織は渋川・子持地区で設立されています。未設置地区では自治会の協力をいただき設立に向けて取り組んでいます。

質問 学生や高齢者など交通弱者への手段として委託しているバス路線拡充の考えは。また定額料金体系のバス運行を考えてはどうか。

答弁 バス利用者は少子化などで減少し、運行費補助は1億4000万円余りと増加しました。高齢者等への配慮を図りながら効率化の検討が必要で定額料金による利用促進は過去の例からも、利用ニーズが必要で料金見直しだけでは利用増は難しいと考えます。

答弁 一時避難場所の自治会館は建物の中に避難するのではなく、一時的な集合場所という考え方にに基づき指定していますが安全安心の視点で検討していきます。

質問 災害による被害を最小限に食い止めるためには、自治会や自主防災組織の活性化が望まれる。対策は。

答弁 自主防災組織は渋川・子持地区で設立されています。未設置地区では自治会の協力をいただき設立に向けて取り組んでいます。



防災無線

渋川総合病院の運営改善に向けた取り組みは

質問 累積赤字が7億円にも達するなかでベッド稼働数は70床。5年間で150床を目標としています。状況では困難だと思えるが、具体的対策は示せるのか。

答弁 医師・看護師の確保を進め、診療機能の充実を図るとともに、高精度放射線治療装置（リニアック）を整備し、病院の特色を打ち出すことにより患者数の増加を図っていきます。